



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月6日

上場会社名 安田倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9324 URL <http://www.yasuda-soko.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤井 信行

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中村 ゆかり

TEL 03-3452-7311

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

2019年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	23,289	1.5	1,840	16.2	2,261	14.5	1,531	19.2
2019年3月期第2四半期	22,946	10.4	1,583	61.4	1,974	55.8	1,284	53.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,043百万円 (108.0%) 2019年3月期第2四半期 982百万円 (65.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	52.49	
2019年3月期第2四半期	43.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	118,947	68,182	57.1
2019年3月期	121,420	66,489	54.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 67,946百万円 2019年3月期 66,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		7.00		12.00	19.00
2020年3月期		8.50			
2020年3月期(予想)				8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,900	1.6	3,150	11.4	4,000	8.4	2,760	1.1	94.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	30,360,000 株	2019年3月期	30,360,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,182,686 株	2019年3月期	1,182,686 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	29,177,314 株	2019年3月期2Q	29,395,319 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により景気は緩やかに回復した一方、米中貿易摩擦の影響や中国経済の減速懸念等を背景に先行き不透明な状況が続きました。

こうした経済情勢にあつて、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫物流業界では国内貨物・輸出入貨物の荷動きは堅調に推移したものの引き続き企業間競争の激化などがあり、また、不動産業界では都市部におけるオフィスの空室率は低い水準で継続しつつも賃料水準は小幅な上昇に留まるなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、本年12月に創立100周年の節目を迎える当社グループは、2030年のあるべき姿としての「長期ビジョン2030」と、長期ビジョンを実現するための計画として中期経営計画「YASDA Next 100」を策定し、次の100年の成長に向けた事業体制の構築と更なる成長を目指しております。その一環として、物流事業においては、付加価値の高いロジスティクス・サービスの提供による取引の拡大や物流施設の拡充など事業基盤の強化を図り、不動産事業においては、既存施設の適切なメンテナンスと機能向上の推進による稼働率の維持・向上に努め、事業拡大を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、物流事業が減収であった一方、不動産事業が増収となったことにより、営業収益は前年同期比342百万円増（1.5%増）の23,289百万円となりました。一方で、物流事業における倉庫施設の拡張や新設による保管料の増加が寄与し、営業利益は前年同期比256百万円増（16.2%増）の1,840百万円、経常利益は前年同期比286百万円増（14.5%増）の2,261百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比246百万円増（19.2%増）の1,531百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

物流事業では、倉庫施設の拡張や新設により保管料は増加したものの、海上及び航空輸送における大型案件の減少などにより国際貨物取扱料が減少し、営業収益は前年同期比137百万円減（0.7%減）の19,585百万円となりました。一方で、施設の稼働率向上及び業務の合理化などにより、セグメント利益は前年同期比229百万円増（16.0%増）の1,660百万円となりました。

不動産事業では、既存施設にて高い稼働率を維持したことに加え、大規模な施工工事等の受託もあり、営業収益は前年同期比373百万円増（10.3%増）の3,989百万円、セグメント利益は前年同期比121百万円増（11.7%増）の1,164百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に長期借入金の返済に伴う現金及び預金の減少により、前連結会計年度末に比べ2,473百万円減の118,947百万円となりました。

負債については、主に長期借入金の減少により前連結会計年度末に比べ4,166百万円減の50,765百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べ1,692百万円増の68,182百万円となりました。以上の結果により自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.5ポイント増の57.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,234百万円減の5,551百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の資金留保による増加もありましたが、主にその他に含まれる未払消費税等が減少したことや法人税等の支払により1,833百万円増（前年同期は3,421百万円増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得による支出により1,825百万円減（前年同期は1,465百万円減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金の減少により2,207百万円減（前年同期は627百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月9日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,800	5,565
受取手形及び営業未収金	7,549	5,761
その他	700	841
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	16,046	12,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,744	33,381
機械装置及び運搬具（純額）	1,123	1,126
工具、器具及び備品（純額）	646	663
土地	22,692	22,692
建設仮勘定	124	703
有形固定資産合計	58,332	58,568
無形固定資産		
借地権	1,016	1,016
その他	1,696	1,698
無形固定資産合計	2,712	2,714
投資その他の資産		
投資有価証券	42,742	43,581
繰延税金資産	330	340
その他	1,279	1,599
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	44,329	45,499
固定資産合計	105,374	106,781
資産合計	121,420	118,947

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	4,574	2,883
短期借入金	3,900	4,200
1年内返済予定の長期借入金	3,862	3,346
未払法人税等	723	625
未払費用	1,122	1,110
その他	1,940	1,299
流動負債合計	16,124	13,465
固定負債		
長期借入金	20,839	19,165
繰延税金負債	11,563	11,824
退職給付に係る負債	2,123	2,091
長期預り敷金保証金	3,967	3,903
その他	312	314
固定負債合計	38,807	37,299
負債合計	54,931	50,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,602	3,602
資本剰余金	2,803	2,803
利益剰余金	33,528	34,710
自己株式	△963	△963
株主資本合計	38,970	40,151
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,390	27,973
為替換算調整勘定	△310	△373
退職給付に係る調整累計額	195	195
その他の包括利益累計額合計	27,275	27,795
非支配株主持分	243	235
純資産合計	66,489	68,182
負債純資産合計	121,420	118,947

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業収益		
保管料	3,297	3,563
倉庫作業料	4,364	4,238
陸運料	6,027	6,258
国際貨物取扱料	3,833	3,367
物流賃貸料	837	822
不動産賃貸料	2,263	2,272
その他	2,323	2,766
営業収益合計	22,946	23,289
営業原価		
作業費	10,338	9,789
人件費	3,598	3,744
賃借料	1,117	1,186
租税公課	457	485
減価償却費	1,208	1,251
その他	3,382	3,612
営業原価合計	20,100	20,069
営業総利益	2,845	3,219
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	595	626
福利厚生費	108	113
退職給付費用	18	20
減価償却費	45	59
支払手数料	177	192
租税公課	61	73
その他	254	294
販売費及び一般管理費合計	1,261	1,379
営業利益	1,583	1,840
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	468	552
雑収入	42	27
営業外収益合計	513	581
営業外費用		
支払利息	119	138
雑支出	3	22
営業外費用合計	123	160
経常利益	1,974	2,261

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	3	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産廃棄損	88	64
企業年金基金脱退損失	20	-
特別損失合計	109	64
税金等調整前四半期純利益	1,868	2,197
法人税、住民税及び事業税	555	675
法人税等調整額	24	△4
法人税等合計	580	671
四半期純利益	1,287	1,526
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,284	1,531

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,287	1,526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△205	583
為替換算調整勘定	△93	△65
退職給付に係る調整額	△5	0
その他の包括利益合計	△305	517
四半期包括利益	982	2,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	982	2,050
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,868	2,197
減価償却費	1,253	1,310
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△42	△32
受取利息及び受取配当金	△471	△554
支払利息	119	138
固定資産売却損益 (△は益)	△3	△0
固定資産廃棄損	88	64
企業年金基金脱退損失	20	-
売上債権の増減額 (△は増加)	432	1,779
仕入債務の増減額 (△は減少)	△133	△1,656
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△11	△63
その他	548	△993
小計	3,669	2,189
利息及び配当金の受取額	471	553
利息の支払額	△117	△136
法人税等の支払額	△580	△772
企業年金基金脱退による支払額	△20	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,421	1,833
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8	-
定期預金の払戻による収入	10	-
有形固定資産の取得による支出	△1,241	△1,586
有形固定資産の売却による収入	3	0
無形固定資産の取得による支出	△126	△151
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
その他	△102	△87
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,465	△1,825
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	300
長期借入れによる収入	2,035	-
長期借入金の返済による支出	△2,455	△2,155
配当金の支払額	△204	△349
その他	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△627	△2,207
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	△34
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,356	△2,234
現金及び現金同等物の期首残高	4,876	7,786
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,232	5,551

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報
前第2四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	19,713	3,233	22,946	—	22,946
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	9	383	392	△392	—
計	19,722	3,616	23,339	△392	22,946
セグメント利益	1,430	1,043	2,473	△890	1,583

(注) 1. セグメント利益の調整額△890百万円には、セグメント間取引消去△13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△877百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	19,574	3,715	23,289	—	23,289
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	11	274	285	△285	—
計	19,585	3,989	23,575	△285	23,289
セグメント利益	1,660	1,164	2,824	△984	1,840

(注) 1. セグメント利益の調整額△984百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△979百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。